

平成 31 年 2 月吉日

お得意先様各位

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島 7-1-26

オリエンタル新大阪ビル 12F

株式会社マルカン

営業本部

マーケティング部

価格改定のご案内

謹啓

貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来春より別紙製品の価格改定を実施させて頂きたくお願いを申し上げます。

製品の多くは中国をはじめとする海外協力工場で生産をしており、国内や台湾で製造加工している製品の原料・部品などの一部を中国に依存をしているケースが多々あります。

その中国では2000年初頭からの著しい経済成長に呼応するように毎年人件費上昇が続くだけでも製造原価を圧迫しているにもかかわらず、ここに来て環境規制が厳格化され、その影響からも製造原価が高騰しています。

また、国内においても最低賃金の上昇、2017年から始まったダンボールや物流コストの高騰は原価を直撃し苦慮しております。

弊社では、常に生産性向上や仕様変更を行い、コスト改善に努めておりますが、このように企業努力だけでは価格の維持が困難な状況にあります。

以下に価格改定のご説明と改定時期を記載いたしますので、ご理解を賜りたくお願いを申し上げます。

謹白

記

1. 価格改定のご説明

① 中国の環境規制による製造原価の高騰

日本でも中国のPM2.5による大気汚染問題や中国の廃プラスチック輸入全面禁止など中国環境問題は多くの報道から知られるところですが、中国では大気汚染に対する環境規制だけでなく水質汚染に対しても2017年に三度目の水質汚染防止法が改正され排水処理が厳格になるなどの環境に対する規制が年々厳しくなっております。

に伴い、中国製造元では新規ボイラーの設備投資、石炭からエネルギー変換によるコス

ト増、縫製品の染処理や金属製品の表面処理に伴う排水処理コストの増加が、特に 2017 年ごろから環境対策のための中国における製造原価上昇は顕著で、仕入原価への反映は余儀なくされております。

尚、環境規制厳格化の要因には中国地方政府幹部の人事評価に環境目標導入という背景があり、仮に米国との貿易摩擦対処として環境規制緩和施策をとられても、それは一過性のもので、中長期的には環境対策コストが中国製造元に重く押し掛かる傾向は持続されるものと思われま

② ダンボールの価格上昇

日本のダンボール大手メーカー各社の値上げは 2017 年 7 月ごろから始まり、実施時期など睨み合いも一時はありましたが、結果は中小各社も含め値上げを認めざるを得ませんでした。

原因は、日本の古紙を中国メーカーが日本国内流通価格より高い価格で買い占めることから、古紙の流通コスト上昇が原因になります。結果、中国におけるダンボール価格も原料調達コスト上昇から当然値上がりしております。

これらダンボール価格の高騰は、製品一ヶあたりに占める割合は小さいとは云え、ほぼすべての製品に渡って影響を及ぼし製造原価上昇の一因になっております。

③ 物流コストの高騰

宅配便の値上げから一般消費者にも知られる物流コスト高騰の要因はドライバーの人手不足から労働環境悪化を防ぐためでした。

2017 年春から始まった物流コストの値上げは、物流各社が価格改定に踏み切り、製品をお届けする為には価格改定を受諾せざるを得ず、原価上昇への影響は避けられないところ

2. 価格改定の実施時期

2019年3月1日出荷分より

以上